

刑 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は1枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限りです）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は60分です。
- VII 問題は1ページにあります。

刑 法

下記の文章を読み、X、Yの罪責を論じなさい（自動車運転死傷行為処罰法以外の特別法違反の点は除く）。

XとYは、金に困って、何か手っ取り早く金を稼ぐにはどうしたら良いかを相談していた。そこで、まずXが「貴方のキャッシュカードが不正に利用されているので、確認する必要がある」旨の電話をかけた上で、Yがその後、電話の相手方宅に実際に出向き、キャッシュカードをすり替えることを思いついた。そして、一人暮らしの資産家Aをターゲットにすることにした。

Xは、令和5年6月8日午後2時過ぎ頃、「警察の者ですが、貴方の銀行預金口座が不正利用されているようですので、再度の被害を防止する必要があります。今から金融庁の職員がそちらに向かい、貴方のキャッシュカードを確認します。後はその者の指示に従って、彼が用意している封筒にキャッシュカードを入れ、保管してください。3日間は口座からお金の引き出しはできませんので、その間、そのカードもそのまま保管しておき、使わないでください」とA方に電話をしたつもりであったが、実際には誤って別人Bに電話をかけてしまっていた。しかしXはそれに気づかないまま、Yに対し、「計画通りAに電話したから後は頼む」と連絡したので、Yは、予定通りA方に向かうことにした。

そして、同日午後4時頃、YがA方玄関前に到着したところで、付近を警らしていた警察官がパトカーから降りてきて、Yに「すみませんが」と声をかけた。Yは、警察に自分とXの計画がバレたと思い、逮捕を免れるために、たまたま近くの家から車に乗り込もうとしていた主婦Cを持っていたナイフで脅し、Cの車を奪って逃走した。その車の助手席にはCの子であるDが乗っていたが、Yは、後から追ってきたパトカーを回避するためにスピードを上げて逃げようとしたところ、運転操作を誤って車の左側前方を電柱にぶつけてしまい、衝突の衝撃で、Dは加療約2週間の頸椎捻挫の傷害を負った。

以 上